



三雲小学校でウツクシマツの講習をしました

平松のウツクシマツ自生地の地元である三雲小学校は今年で創立150周年を迎えます。このことを記念して三雲小学校の全校児童が枯れたウツクシマツを使って、親子でキーホルダー作りをすることになりました。

キーホルダー作りをする前に平松のウツクシマツ自生地のことを三雲小学校の全学年の親子の皆さまに知ってもらうためにウツクシマツ再生室職員が講師となって、11月17日（金曜日）、11月21日（火曜日）、12月1日（金曜日）の3回に分けて平松のウツクシマツ自生地について講習をしました。

当日の体育館はとても寒い中でしたが、皆さん熱心に講習を聞いていただきました。

平松のウツクシマツ自生地についての講習の様子





講習の後、枯れて切り倒したウツクシマツを使って、親子でキーホルダー作りをされました。

ウツクシマツの端材を組み合わせて繋げ、端材に子どもたちが思い思いに色を塗ったり、スタンプを押したりしていました。

今回作成したキーホルダーは形に残るものですので、このキーホルダーを子どもたちが見るたびに、ウツクシマツのことを少しでも気にかけてくれると嬉しく思います。

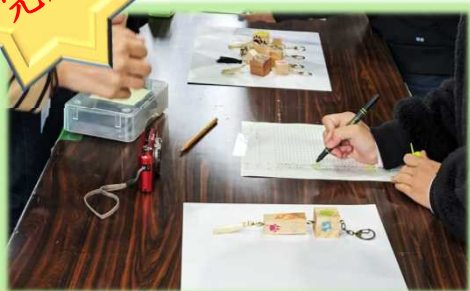
この他にも、手に絵の具をつけて、手形でさくらの花を作る手形アートも作成されるなど、三雲小学校150周年記念行事は大盛況でした。

キーホルダー作り



作成中

完成



手形アート



作成中

完成

